

第3回あわらし道の駅基本計画策定委員会

日時 令和2年12月4日(金)

午前10時から

場所 あわらし市役所 正庁

次 第

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 道の駅導入機能及び施設等について (目次5、8)

- ① 施設レイアウトに関する第2回策定委員会の主な意見・・・資料1
- ② 休憩機能・情報提供機能・地域振興機能・周遊観光促進機能施設レイアウト・・・資料2-①、2-②、2-③、2-④
- ③ 駐車場・・・資料3-①、3-②

(2) 空間計画・意匠計画について (目次9)・・・資料4

(3) 管理運営の基本方針について (目次10)・・・資料5

(4) その他

3 その他

- ・次回の会議日程等について

第3回あわら市道の駅基本計画策定委員会名簿

あわら市道の駅基本計画策定委員

| | 氏名 | 所属及び役職名 |
|------|---------------|-------------------------------------|
| 委員長 | 川本 義海 | 福井大学学術研究院工学系部門 教授 |
| 副委員長 | 城戸橋政雄 | あわら市副市長 |
| 委員 | 山田 重喜 【欠席】 | あわら市議会議長 |
| 委員 | 吉田 太一 | あわら市議会副議長 |
| 委員 | 田井野章浩 | 一般財団法人本願寺文化興隆財団 外事部 部長 |
| 委員 | 末富 攻 | 吉崎地区区長会 会長（吉崎2） 一般社団法人蓮如の里吉崎 理事長 |
| 委員 | 古橋 照夫 | 北潟地区区長会 会長（北潟西） |
| 委員 | 杉田 光良 | 細呂木地区区長会 会長（蓮ヶ浦） |
| 委員 | 酒井 敏雄 | NPO法人細呂木地区創成会 副会長 |
| 委員 | 赤尾 政治 | あわら市商工会 会長 |
| 委員 | 米由 誠 | あわら市観光協会 事務局長（会長 前田健二氏代理） |
| 委員 | 深町 治男 | 福井県農業協同組合坂井基幹支店坂井園芸センターきららの丘担当課長 |
| 委員 | 中林 敬雄 | 坂井北部丘陵地営農推進協議会 事務局長 |
| 委員 | 田端 和英 | 北潟漁業協同組合 組合長 |
| 委員 | 宮本久仁彦 | 国土交通省 近畿整備局 福井河川国道事務所 事務所長 |
| 委員 | 平林 透 | 福井県 土木部 道路保全課長 |
| 委員 | 神門 博文 | 福井県 土木部 三国土木事務所長 |
| 委員 | 獅子原朋広 【欠席】 | 福井県 交流文化部 副部長（観光誘客課長取扱） |
| 委員 | 吉澤 真 【欠席】 | 福井県 農林水産部 流通販売課長 |
| 委員 | 小嶋 範久 | あわら市 創造戦略部 部長 |
| 委員 | 永井 宏昌 | あわら市 土木部 部長 |
| 委員 | 武田 正彦 | あわら市 経済産業部 部長 |

事務局

| | | | |
|----|-------|--------------------------------------|---------|
| 1 | 江川 嘉康 | あわら市 創造戦略部 政策広報課長 (道の駅整備準備室長) | 【事務局長】 |
| 2 | 藤田 由紀 | あわら市 創造戦略部 政策広報課長補佐 (道の駅整備準備室長補佐) | 【事務局次長】 |
| 3 | 渡邊 崇久 | あわら市 創造戦略部 政策広報課主事 | |
| 4 | 伊藤 裕一 | あわら市 土木部 理事 | |
| 5 | 龍田 雅人 | あわら市 土木部 建設課長 | |
| 6 | 高橋 啓介 | あわら市 土木部 建設課長補佐 (道の駅整備準備室) | |
| 7 | 伊藤 隆信 | あわら市 経済産業部 理事 | |
| 8 | 宮川 豊一 | あわら市 経済産業部 農林水産課長補佐 (道の駅整備準備室) | |
| 9 | 堀江 紀幸 | あわら市 経済産業部 観光振興課長 | |
| 10 | 細川 正樹 | あわら市 経済産業部 観光振興課長補佐 (道の駅整備準備室) | |

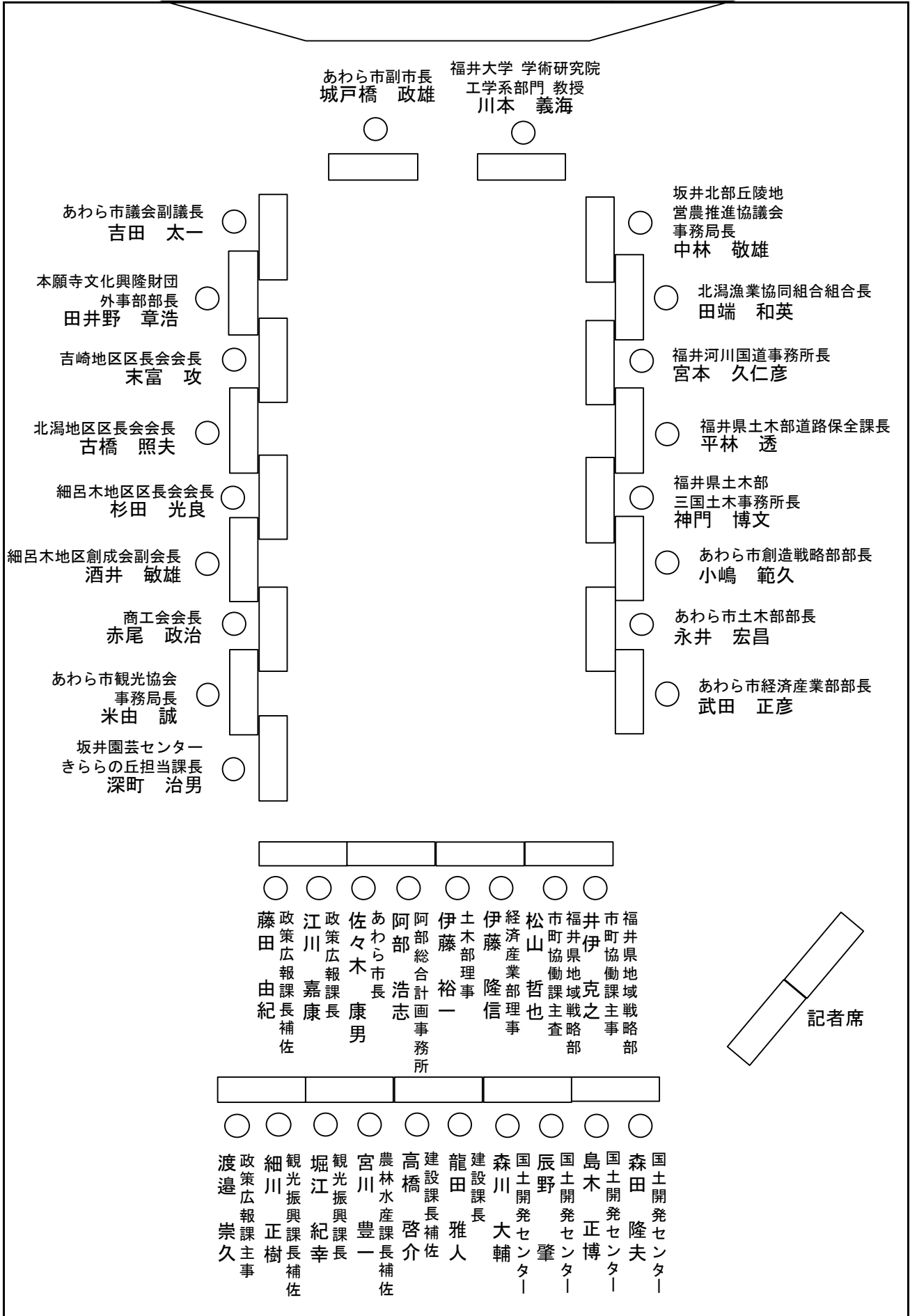
オブザーバー

| | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 佐々木康男 | あわら市長 |
| 2 | 阿部 浩志 | (株)阿部総合計画事務所 |
| 3 | 松山 哲也 | 福井県 地域戦略部 市町協働課 主査 |
| 4 | 井伊 克之 | 福井県 地域戦略部 市町協働課 主事 |
| 5 | 森川 大輔 | (株)国土開発センター福井支店 |
| 6 | 辰野 肇 | (株)国土開発センター福井支店 |
| 7 | 島木 正博 | (株)国土開発センター福井支店 |
| 8 | 森田 隆夫 | (株)国土開発センター福井支店 |

あわらし道の駅基本計画策定委員会配置図

日時：令和2年12月4日(金) 午前10時から

場所：あわらし市役所正庁



建物施設レイアウトに係る第2回策定委員会の主な意見

※ 赤字は対応案

- 1 敷地面積 1,700 m²に対しては、建築面積 1,020 m²を確保した案を次回委員会に提示する予定である。土産物販売所のバックヤードやレンタサイクル格納など、不足するスペースも今後追加していく。(事務局)
⇒ 建築面積 1,020 m²を念頭としたレイアウト案を検討する。
- 2 国道 305 号側の手前にトイレを配置すると、その奥に位置する施設に入りたいと思われぬのでは？(北潟漁協 田端委員)
⇒ 道路管理者との協議を踏まえる。
- 3 最近の道の駅では、道路情報発信コーナー経由でトイレを利用してもらう形態を採用している例が多い。(県 道路保全課 平林委員)
⇒ トイレの利用は、道路情報発信コーナーを経由する動線とする。
- 4 建物施設内の利用者の動き方が分かるようにしてほしい。特に、飲食施設については、トイレと農産物直売所と間にあり、人が通過する中で食事をとると、落ち着いて飲食ができない気もする。(県 道路保全課 平林委員)
- 5 施設の利用者が移動しやすく、使いやすく、楽しめるような視点でレイアウトを検討することが最も重要である。(福井大学 川本委員長)
⇒ 利用者の動線を示しながら、レイアウト案を見直す。
⇒ 休憩スペースと飲食施設は隣り合わせで利用できる配置とする。
- 6 建ぺい率については角地緩和(10%上乘せ)が適用される可能性もあるのでは。(県 三国土木 神門委員)
⇒ 角地緩和(10%上乘せ)が適用される。
- 7 多機能トイレへの入り方などを考えると、第2回策定委員会資料3の案1(トイレ及び情報発信コーナーの配置)と同案2(自転車関係の配置)を組み合わせる案もあるのでは。(県 道路保全課 平林委員)
⇒ 計画敷地を 1500 m²から 1700 m²に増やした第2回策定委員会資料3の案2を基本ベースとし、同案1のトイレ及び情報発信コーナーの配置を組み合わせる案を検討する。

- 8 農産物等を搬入搬出するための駐車スペースや、ゴミ集積所、自動販売機設置スペースなど、建物の外を含めて、自転車利用者の動線と交錯しないように確保、配置を検討してほしい。従業員用の出入口やトイレ、冷凍・冷蔵庫スペースも必要ではないか。（坂井園芸センター 深町委員）

⇒ 細部の配置については基本設計での検討となるが、バックヤードスペースなど、建物内外を含め可能な限り確保する。

- 9 農産物直売所の面積が200㎡となると1～2億の売り上げを目指すことになり、そのような直売所は県内でもかなり大規模なものしかない。どのような品目を置くのかを含めて直売所の必要面積を検討した方がよいのではないか。（県 流通販売課 吉澤委員）

⇒ 道の駅「禅の里」や「若狭おばま」等を参考に、農産物直売所と土産物販売所をあわせて300㎡を確保する。

- 10 地域振興施設内の飲食施設と鳳凰閣内のレストランは、競合しないようにうまく使い分けていく必要がある。（県 道路保全課 平林委員）

⇒ 鳳凰閣内のレストランはハイクラスな飲食施設であるのに対し、地域振興施設内の飲食施設は立ち寄りイートインのソウルフードで差別化を図る。

休憩機能・情報提供機能・地域振興機能・周遊観光促進機能施設 ～施設レイアウト案1～



検討条件

- ① 敷地： 吉崎観光センター立地区域（隣接空き家を含む）（約1,700㎡）
- ② 容積率：200%、建ぺい率：70%（都市計画区域内、用途地域外、農村集落環境保全ゾーン）

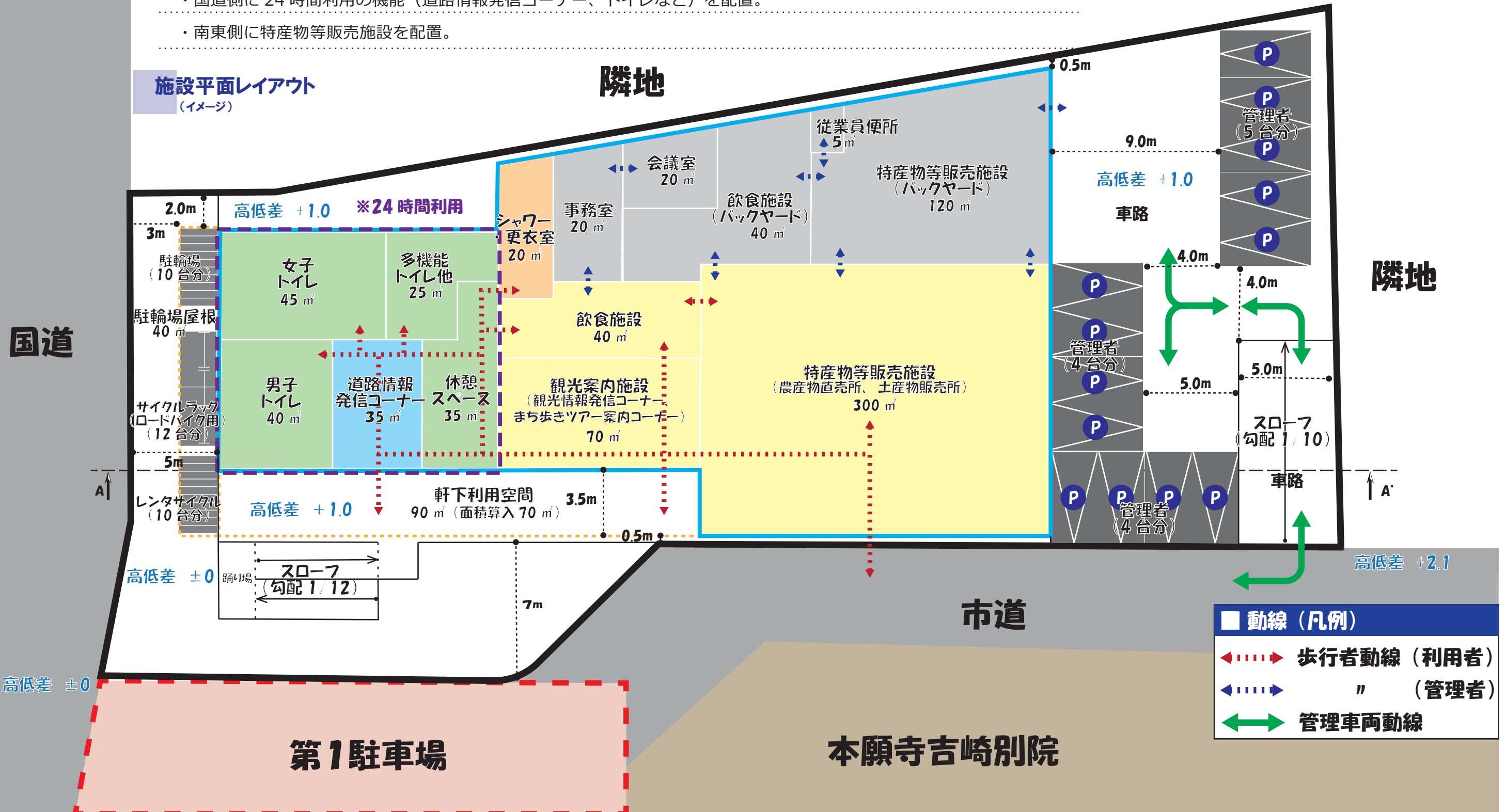
レイアウトの特徴

- ・国道側に24時間利用の機能（道路情報発信コーナー、トイレなど）を配置。
- ・南東側に特産物等販売施設を配置。

施設平面レイアウト (イメージ)

事業概要

計画敷地：約1,700㎡
建築面積：約930㎡
 (建物820㎡ + 軒下70㎡ + 駐輪場屋根40㎡)



休憩機能・情報提供機能・地域振興機能・周遊観光促進機能施設 ～ 施設レイアウト案 2 ～

検討条件

- ① 敷地： 吉崎観光センター立地区域（隣接空き家を含む）（約1,700㎡）
- ② 容積率：200%、建ぺい率：70%（都市計画区域内、用途地域外、農村集落環境保全ゾーン）

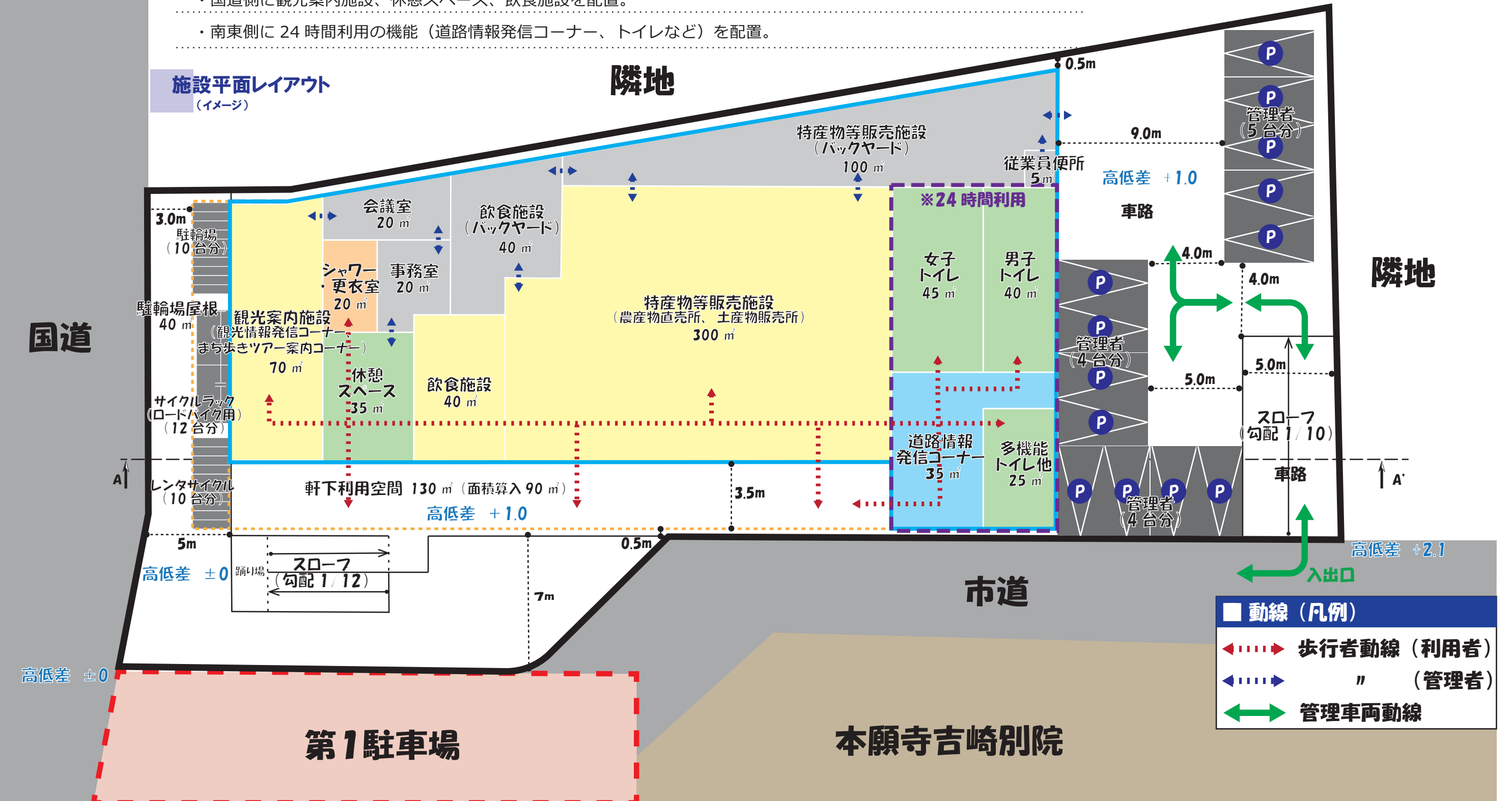
レイアウトの特徴

- ・国道側に観光案内施設、休憩スペース、飲食施設を配置。
- ・南東側に24時間利用の機能（道路情報発信コーナー、トイレなど）を配置。

事業概要

計画敷地： 約 1,700 ㎡
建築面積： 約 930 ㎡
 （建物 800 ㎡ + 軒下 90 ㎡ + 駐輪場屋根 40 ㎡）

施設平面レイアウト （イメージ）



| ■ 動線（凡例） | |
|-----------|------------|
| ◀ ▶ | 歩行者動線（利用者） |
| ◀ ▶ | ”（管理者） |
| ↔ | 管理車両動線 |

第1駐車場

本願寺吉崎別院

国道

市道

隣地

隣地

■ 敷地造成計画イメージ図 [A - A' 断面]

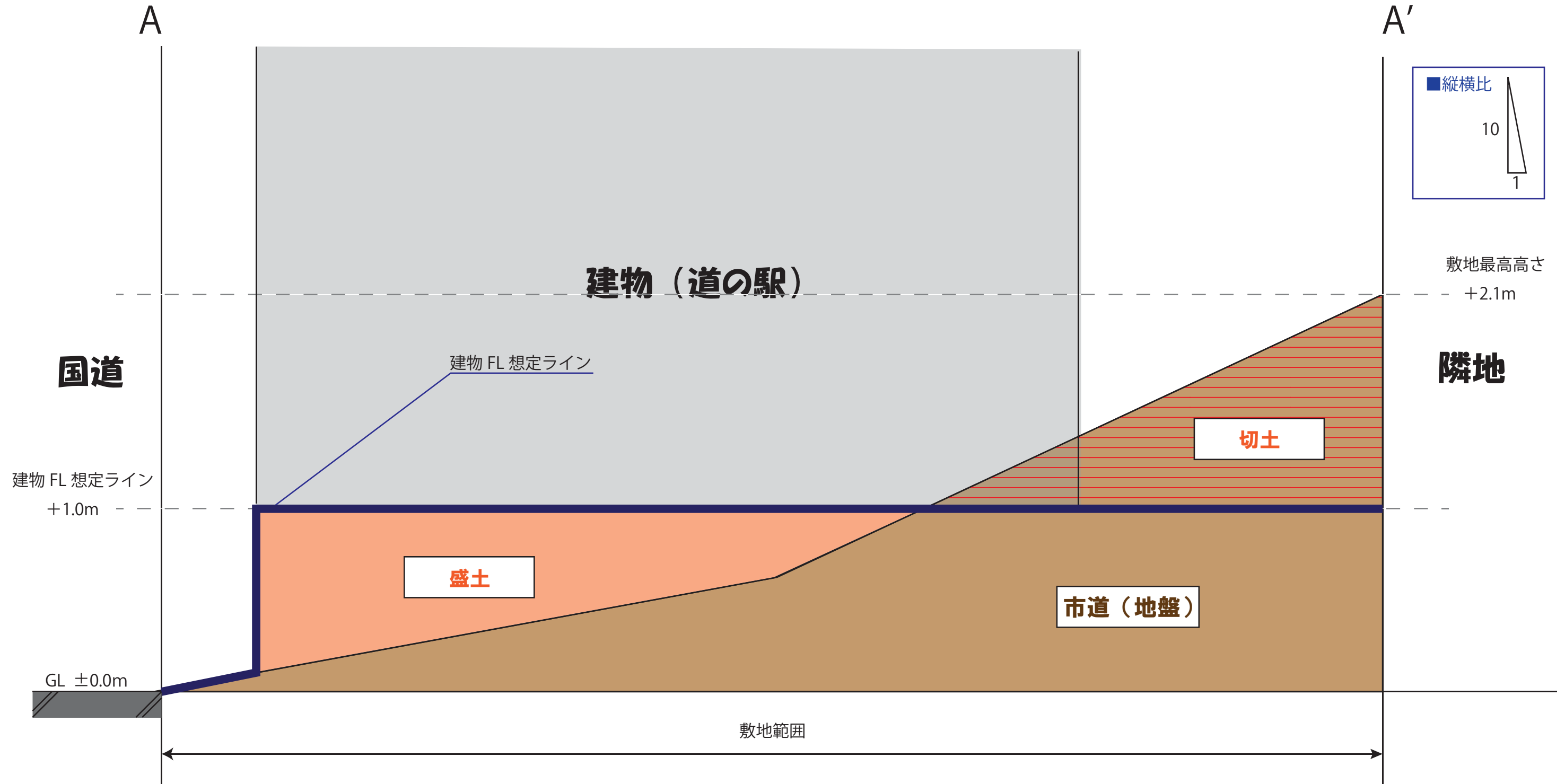
作成条件

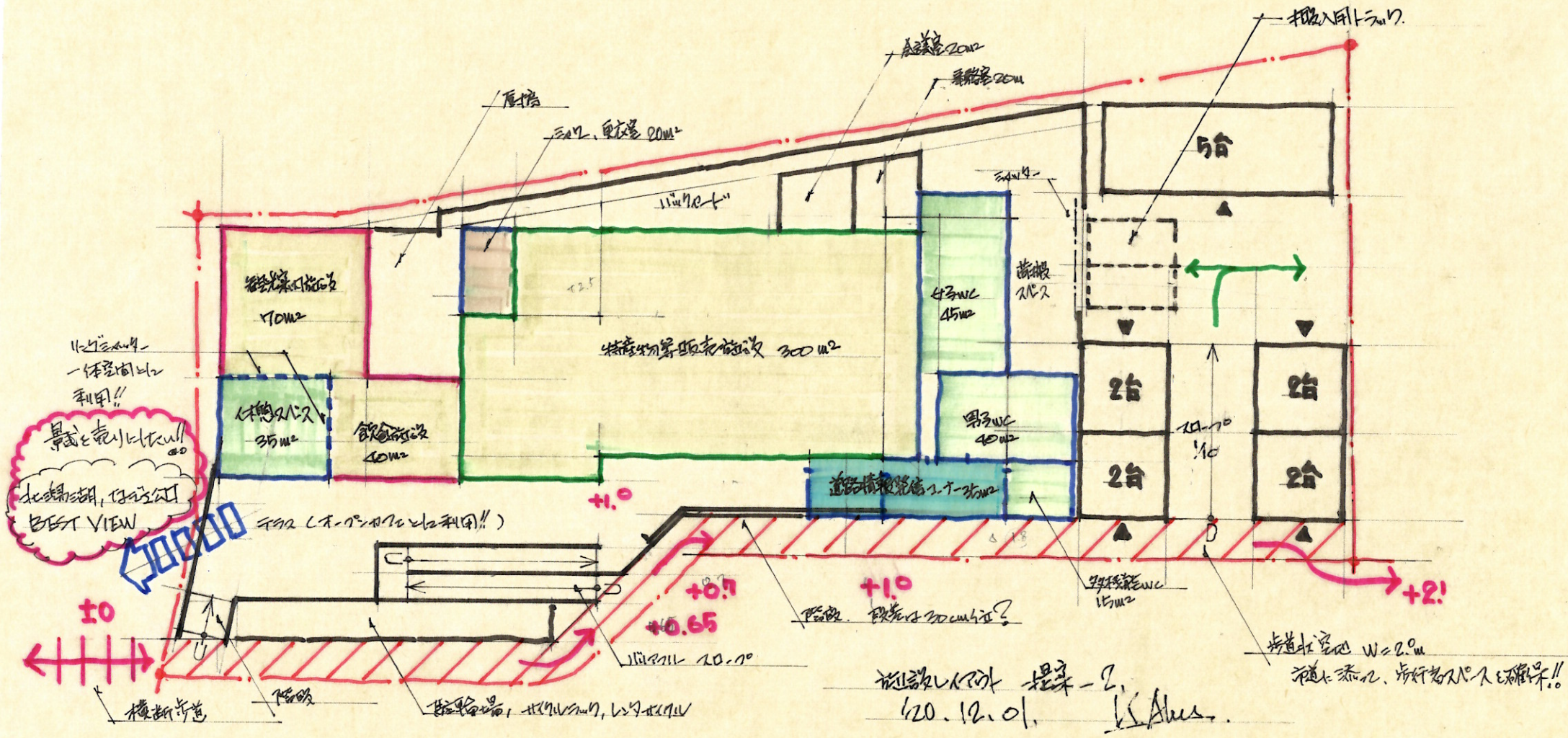
- 敷地前面における市道（地盤）の勾配（高低差）を参考として作成。高さは、国道を GL±0 と仮定し作成。

計画内容

(イメージ図)

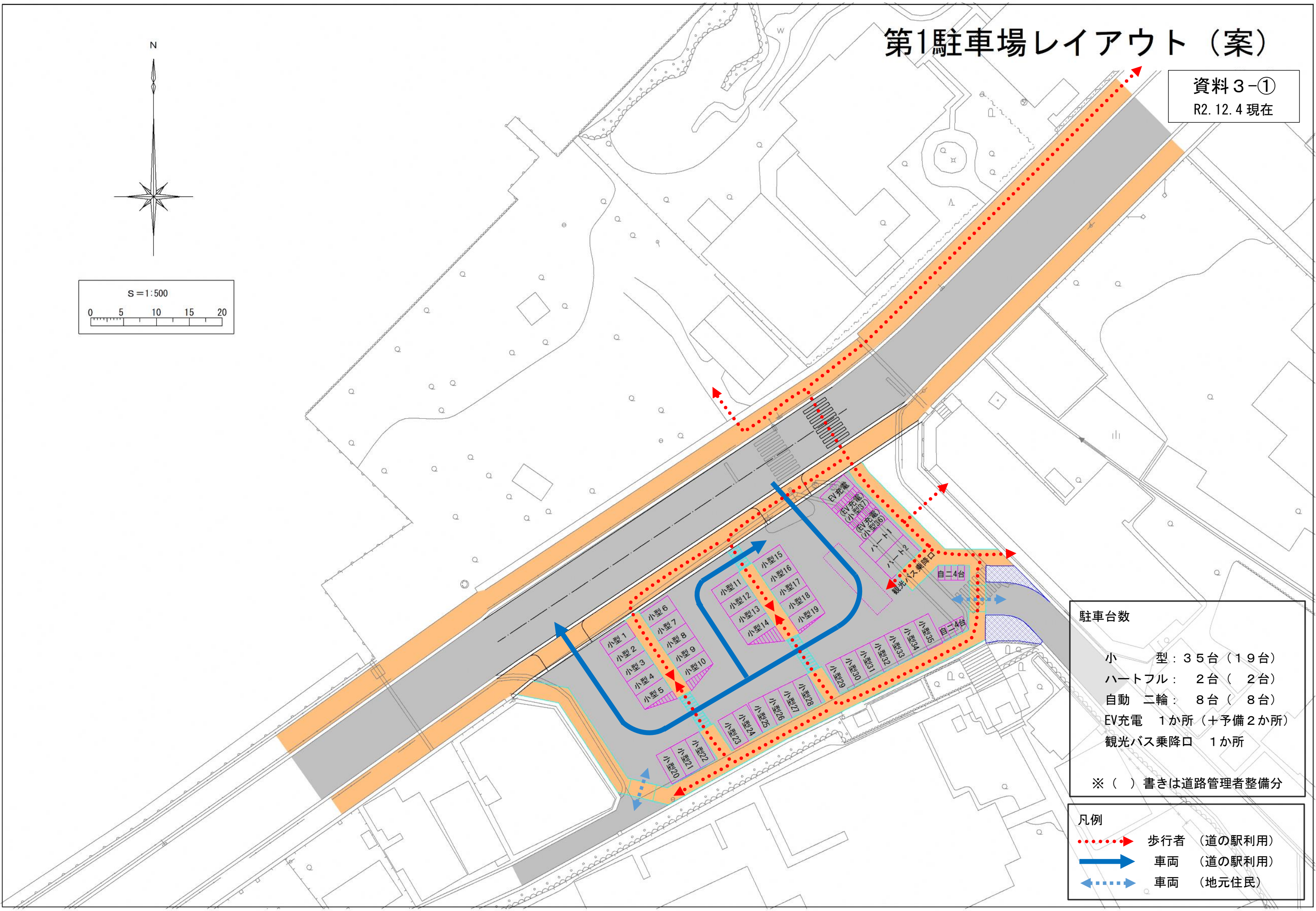
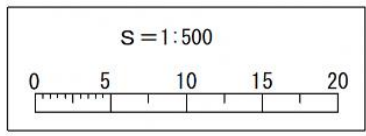
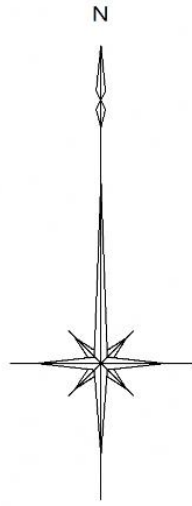
- 現状の国道、市道の勾配や標高は変えないものとして計画する。
- 建物（道の駅）のフロアレベルは段差なく水平とするため、国道側を 1.0m の盛土、南東側は 1.1m の切土を計画する。





第1駐車場レイアウト (案)

資料 3-①
R2. 12. 4 現在



駐車台数

| | |
|---------|--------------|
| 小 型 | : 35台 (19台) |
| ハートフル | : 2台 (2台) |
| 自動 二輪 | : 8台 (8台) |
| EV充電 | 1か所 (+予備2か所) |
| 観光バス乗降口 | 1か所 |

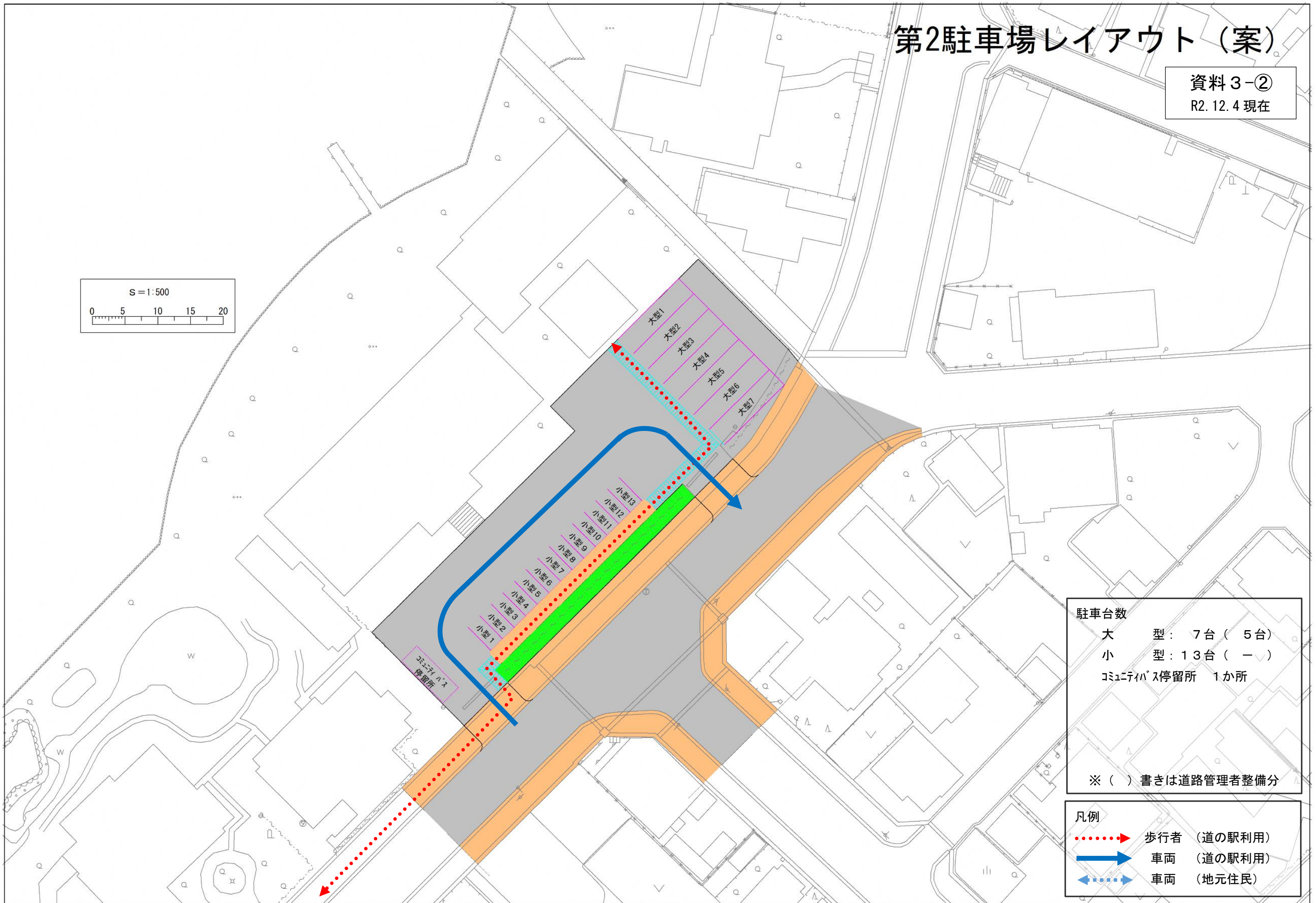
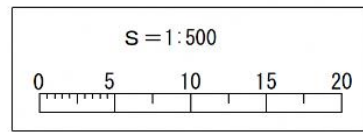
※ () 書きは道路管理者整備分

凡例

| | |
|--|-------------|
| | 歩行者 (道の駅利用) |
| | 車両 (道の駅利用) |
| | 車両 (地元住民) |

第2駐車場レイアウト（案）

資料3-②
R2.12.4 現在



| 駐車台数 | |
|-------------|-------------|
| 大 型 | : 7台 (5台) |
| 小 型 | : 13台 (-) |
| コミュニティバス停留所 | 1か所 |

※ () 書きは道路管理者整備分

| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 歩行者 (道の駅利用) |
| | 車両 (道の駅利用) |
| | 車両 (地元住民) |

空間計画・意匠計画について

※ 赤字は整備構想に補足追記した内容

道の駅「蓮如の里あわら」の空間及び意匠については、吉崎地域の持つ歴史や文化を感じながら、北潟湖や鹿島の森などの周辺の自然と環境に調和する施設整備を基本とします。

また、地域産の素材を使用し、来る人を癒し、くつろぐことができ、また周辺観光の拠点となるような空間・意匠計画とします。

1 自然及び文化環境を取り込んだ空間・意匠

- 施設からの眺望に周辺の自然景観を取り込み、吉崎汀公園や吉崎御坊蓮如上人記念館の湖畔空間と一体となって北潟湖の持つ魅力を最大限に活かしながら、自然の中でくつろげる計画とします。
- 吉崎御坊を中心とする門前町として栄えてきた歴史と文化を踏まえ、周辺の寺院や吉崎西別院、東別院、吉崎御坊蓮如上人記念館等と調和が図られるよう、「和」が感じられる外観を基本とします。
- 施設は地域産の素材を有効に活用することを基本とし、経済性や耐久性、メンテナンス性に優れた計画とします。特に屋根瓦は、寒冷地でも凍らず、割れにくく、長持ちし、あきのこない優雅な銀鼠色の越前瓦を活用します。
- 再生可能エネルギーの積極的活用と有効活用に努めます。また、今後の電気自動車等の普及拡大を見据え、その充電スタンドを駐車場の一面に確保します。

2 移動しやすく楽しめる空間・意匠

- 吉崎汀公園や吉崎御坊蓮如上人記念館と一体的に利用しやすい施設レイアウトとし、道の駅利用者が、快適に滞留や回遊ができる計画とします。また、北潟湖畔を周遊するサイクリングの拠点としても活用されやすい空間計画とします。
- 地域振興施設は、「情報案内・休憩」、「物販」、「飲食」の相互利用向上の観点から一体的なものとして関連性を高めて地域の活性化に資する魅力ある空間とします。また、物販、飲食、催しものなどを楽しめるように軒下空間を広めに確保します。
- 地形の高低差を考慮しつつ、高齢者や障がい者などが快適に利用できるように、敷地内や建物内をバリアフリー化するとともに、施設は平屋建てとします。
- 誰でも安全で安心して楽しく利用できるユニバーサルデザインとします。
- 周辺の眺望を楽しめる空間を確保します。
- 道の駅利用者の動線に配慮した配置計画とします。

3 地域住民が集える場としての空間・意匠

- 地域住民も気軽に立ち寄り、利用できるように、明るく入りやすい開放的な空間とします。
- 隣接宅地など、周辺の居住環境に配慮した計画とします。

4 可変性のある空間計画

- 建物内部は移動可能な間仕切り等で計画し、可変性を有する空間とします。
- 防災拠点としても機能できるよう、無停電設備や防災備蓄なども検討し、平常時と災害時のいずれにも対応できる空間とします。

5 冬季環境に配慮した空間計画

- 冬季の積雪等に配慮し、堆雪空間を確保するなど、除雪しやすい施設計画とします。
- 屋根からの落雪等による第三者被害の防止や堆雪に配慮した計画とします。
- 冬季の積雪や凍結時を考慮して滑りにくい路面に配慮するとともに、風雨や風雪を凌げる空間とします。

道の駅の管理運営について

— 道の駅「禅の里」と「若狭おばま」 —

■施設の概要

| | 道の駅「禅の里」 | | | 道の駅「若狭おばま」 | | |
|------------------|---|-----|------------------|---------------------------------------|--------------------------|------------------|
| 供用年月日 | 平成28年3月19日 | | | 平成23年3月12日 | | |
| 所在地 | 福井県吉田郡永平寺町清水2-21-1 (旧上志比村) | | | 福井県小浜市和久里24-45-2 (舞鶴若狭自動車道の小浜IC近く) | | |
| 運営事業者 | 株式会社きらり(民間企業・指定管理者) ※ 温浴施設の指定管理者は株式会社コーワ | | | 株式会社まちづくり小浜 おばま観光局 (第三セクター・指定管理者) | | |
| 代表者氏名 | 代表取締役 鈴木 茂喜(永平寺町商工会会長) | | | 代表取締役 猪嶋 宏記(小浜市副市長) | | |
| 駅長氏名 | 駅長 鈴木 秀夫 | | | 取締役兼道の駅事業部部長 佐野 達也 | | |
| 営業時間 | 飲食コーナー | 飲食 | 11:00~15:00 | 飲食コーナー 特産物販売コーナー | 9:00~18:00 (季節により異なる) | |
| | | カフェ | 10:00~16:00 | | | |
| | 特産物販売コーナー | | 9:00~18:00 | | | |
| | 永平寺温泉 (H25.7月オープン) | | 10:00~21:00 | | | |
| EV充電ステーション | 1基 | | 9:00~18:00 | 1基 | 9:00~18:00 | |
| 定休日 | 第3水曜日、年末年始(30日~翌年2日) | | | 年末年始(30日~翌年2日) | | |
| 駐車場 (永平寺温泉含む) | 大型車 | | 2台 | バス・大型車 | | 7台 |
| | 普通車 | | 46台 (内身障者用4台) | 普通車 | | 96台 (内身障者用4台) |
| トイレ | 男子トイレ | 小便器 | 4基 | 男子トイレ | 小便器 | 7基 |
| | | 和式 | 1基 | | 和式 | 2基 |
| | | 洋式 | 1基 | | 洋式 | 1基 |
| | 女子トイレ | 和式 | 1基 | 女子トイレ | 和式 | 5基 |
| | | 洋式 | 5基 | | 洋式 | 6基 |
| | 多目的トイレ | 洋式 | 2室 | 多目的トイレ | 洋式 | 2室 |
| 設備 | 授乳室、おむつ取替スペース、展望台、無線LAN | | | 観光案内所、体験施設、無線LAN | | |

■質問事項

| | 道の駅「禅の里」 | 道の駅「若狭おばま」 |
|----------------|---|---|
| 1 施設について | | |
| 施設配置 | 図面のとおり | 図面のとおり |
| 施設配置に関して留意した事項 | | 人の導線、雨天時などを考慮 |
| 施設の特徴や売り | こだわりのグルメとお土産 日帰り天然温泉&無料足湯 | 小浜ICに近く利便性が良し、街の玄関口を担っている |
| 2 管理運営について | | |
| 運営事業者や駅長の選定方法 | 町内の事業者7名が出資し「株式会社きらり」を設立。代表取締役は商工会会長。駅長は代表取締役が選任。 | H22年第三セクターの株式会社まちづくり小浜を設立。代表取締役は副市長。駅長は事業統括部長が兼務。 |
| 運営体制 | 株式会社きらり | 株式会社まちづくり小浜道の駅事業部 |

| | | |
|----------------------|--|---|
| 職員の構成（正規及び非正規） | 正社員は駅長のみ パート10名、アルバイト20名 | 当初は駅長と主任2名が正社員（現在は駅長のみ）、パート約10名 |
| 経営の状況 | 1年目は赤字（3月オープン） 2年目以降は黒字 | 道の駅事業はかなりの収益を上げている 観光振興が目的、道の駅の収益により企画管理部の人件費としている |
| 行政からの支援（資金、派遣職員等） | 指定管理者料 相談先は永平寺町商工観光課 | 株式会社まちづくり小浜へ年間1000万円の補助 直接の補助金はH27年までの5年間、以降は自主運営 |
| 地域住民のサポート体制 | 出荷者協議会（加入数120） 事務局：（株）きらり | 地域各団体と協力し、イベントなどを開催、交流と活性化を図る。 |
| 利用客層、利用者数（平日、日曜・祝祭日） | 平日800人（シーズン）、400人（オフ） 土日1,600人（シーズン）、800人（オフ） イベント2,000人～4,000人 お盆3,000人 | 8割市外、県外（嶺北、関西、中部）多い |
| 運営時間、定休日 | 午前9時から午後6時まで 第3水曜日、年末年始は定休日 | 午前9時から午後6時までフードコート午後5時まで ※ 冬季間12月から3月は1時間短縮 |
| 管理運営に関して苦労されていることや課題 | 事務所が狭く、バックヤードもないため、駅長宅の倉庫等を利用 | 人材不足、人材の育成、組合との調整や商品開発 |
| 3 賑わいづくりについて | | |
| PRや集客方法 | PR：SNS、マスコミへの投げ込み等 集客方法：魅力あるイベント立案 | 基本的に有料広告はしない（お付き合い程度はあり）。ドライブマップの雑誌など無料掲載多い。 |
| リピーターづくり | 営利目的だけではなく、地域全体で道の駅を盛り上げる共通意識や、サービス・商品に妥協せず、お客様の期待以上を提供 | スタッフの接客や対応を丁寧に（笑顔、声掛け） |
| 開催イベント等 | 周年祭、うまいもん祭り、各種収穫祭、ウォーキング、もちつき等 ※ アユのつかみ取り（失敗） | 冬季以外は、月例のミチフリマーケット開催 他、各団体とジョイントのイベントを不定期開催 |
| 4 農産物直売所について | | |
| 運営事業者 | 株式会社きらり | 株式会社まちづくり小浜 |
| 農産物の集荷、販売システム | （株）寺岡システム使用（直売所システム） | （株）寺岡システム使用（直売所システム） |
| メニュー等の選定方法 | 出荷者協議会で協議 | ご当地性を念頭にメニュー開発 |
| 売れ筋、目玉商品 | ピクニックコーン、上志比にんにく | 焼き鯖すし、加工海産物 |
| 商品開発 | 上志比黒にんにく、ニンキーせんべい、ピクニックコーン大福、大人の吟醸酒饅頭 | ご当地性を念頭において開発している（若狭もんだより） |
| 苦労していることや課題等 | 新しい特産品の開発 収穫最盛期に同一商品の大量出荷 冬場の農産物不足、生産者の意識の差 | 水産加工品が中心で農産物は少ない 「いまだけ、ここだけ」 しかし小浜だけよりは福井県 |
| 5 土産品販売所について | | |
| 運営事業者 | 株式会社きらり | 株式会社まちづくり小浜 |
| 仕入先 | 各々と商談 | 物産協会、魚商組合、ささ漬け協会、JA、箸組合、青果組合、製菓組合、その他 |
| 販売品目の選定方法 | 業者からの提案、市場視察、社内会議 | ご当地性を重視 |
| 売れ筋、目玉商品 | オリジナル商品 五月ヶ瀬、羽二重餅 | 鯖寿司や加工海産物が多いが、今後は農産物に注力する。五月ヶ瀬、羽二重餅 |
| 商品開発 | 地元の特産品を使用して6次化 | OEM商品を仕入れ業者と開発 |
| 苦労していることや課題 | 商品の入れ替え判断 | おばまの独自性を出したいが、難しい |
| 6 飲食施設について | | |
| 運営事業者 | 株式会社きらり | 株式会社まちづくり小浜 |
| メニュー等の選定方法 | 地場産、福井県産食材の使用 出荷者協議会会員の食材活用 観光客だけではなく地元客にも受け入れられる（価格面含む） | ご当地性を念頭にメニュー開発 |
| 売れ筋、目玉商品 | ソースカツ丼、地場産カレー、からあげ定食、福井県産手打ち十割、二八そば | 鯖街道セット、鯖サンド、鯛カツバーガーなど |

| | | |
|--------------|--|---|
| 商品開発 | 社員提案、試食会、他店食べ歩き等 | ご当地性を念頭にメニュー開発 |
| 苦労していることや課題 | 一切の冷凍食品、化学調味料等を使用せず、全て手作りのため、味、手順の統一が難しい | ヒット商品の開発は簡単ではない |
| 7 観光案内所について | | |
| 利用時間、体制 | | 情報施設内カウンターにて、土曜、日曜、祝日 午前10時から午後4時まで（開業当初は毎日） |
| 観光案内所の利用状況 | | 小浜市の玄関を担っているため多い |
| 利用できるコンテンツ | | 県の情報端末、フリーWi-Fi、各種パンフレット |
| 苦労していることや課題 | | 週末の問合せ多いが、すべてに対応は難しい |
| 8 その他 | | |
| E V 充電施設利用状況 | 平日 3～5回、土日 5～10回 追加設置予定 | 急速充電、普通充電に対応（無料、今後は有料化） 追加設置予定 |
| 特記事項 | | <ul style="list-style-type: none"> ・物販施設を拡張予定 ・物販施設内にあるフードコートを縮小し、トイレ棟の西側に位置する「わかさ国府の郷 四季菜館」（現在未利用）へ、レストラン（100席）を改修整備予定 |

あわら市道の駅基本計画策定委員会スケジュール

| | 開 催 日 | 検 討 項 目 |
|-------|------------------|---|
| 第 1 回 | 令和 2 年 10 月 12 日 | 整備構想（案）検討 |
| 第 2 回 | 令和 2 年 11 月 9 日 | 施設等の検討（ハード面） <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅導入機能及び施設等（目次 5） ・ゾーニング計画（目次 7） ・施設配置計画（目次 8） |
| 第 3 回 | 令和 2 年 12 月 4 日 | 施設等の検討（ハード面） <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅導入機能及び施設等（目次 5） ・施設配置計画（目次 8） ・空間計画・意匠計画（目次 9） 管理運営の検討（ソフト面） <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営の基本方針（目次 10） |
| 第 4 回 | 令和 3 年 1 月 26 日 | 施設等の検討（ハード面） 管理運営の方法（ソフト面） 基本計画（素案）の検討 |
| 第 5 回 | 令和 3 年 2 月中旬 | 基本計画（案）の検討 |